

議員 市の活性化および知名度アップ策は、広域行政的な見地から、民間活力も活用し地域の発展を試みてはどうか。市、県はPRが不得意と感じている。私案として常総総合フェスティバルの開催計画を提案する。これは1力所で開催するのではなく、関東鉄道の協力を得て、常総線を無料化し、民間企業を含めた沿線4市の至るところで物産展、お祭り、講演会、施設見学会を同時に開催する計画である。すでに4市の議員が今回の一般質

イベントがつなぐ広域連携

常総市の活性化及び知名度アップ策について



寺田 洋議員

問で同様の質問をすることになっており、プロジェクトチームを結成した。この提案に対する市の考えを伺いたい。

市長公室長

提案があつた常総広域圏4市と関東鉄道などの民間企業との連携したフェスティバルについては、近隣の自治体のみならず近県からの集客も見込まれ、人口交流、定住促進などさまざまな相乗効果が期待される。是非進めていただきたいと考える。

市長

広域連携の重要性が一番のキーワードで、他市町村との連携、まずはトップ同士の連携がなくてはならないと考える。広域連携の重要性は、各首長も認識しており、水害で協力をいただいた近隣市町村でもある。鬼怒川、常総線、この沿線の首長ともさまざまな取り組みを行いたい考えもあり、提案を実現すべく市も全面的に協力をしたい。

議員

この実現には、さまざまな関係者の協力を得る必要があり、当然最後は行政がやることになると思うので、市長が一番のリーダーとなることで、多いに期待している。実現に向けて前進できるようにお願いしたい。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI □ 殿 質 問

水害を教訓に

排水対策について



石川 栄子議員

つていたのか伺いたい。

都市建設部長

下館河川事務所からの出水情報や水位情報を確認しながら操作員と連絡調整を行い、緊急時に備えた体制をとっている。今後は八間堀川への流入水路に着目したタイムラインを作成し、国および県、土地改良区、周辺自治区の方々の情報伝達のシナリオなどを作成し、体制強化を図る考えである。

議員

国管理の八間堀排水機場の逆流防止水門の閉鎖が遅れたということが大きな原因の一つだと聞いており、改善策はあるのかまた、誰が見ても分かるような水位計を設置して欲しい。

都市建設部長

下館河川事務所の確認では、閉鎖するまでは順流で、八間堀川から鬼怒川に流れていたもので作業は行わずと聞いています。水位計は、今年中に県で樋管に設置すると確認している。

議員

タイムラインという言葉は何回も聞いたが、実際の流れを止めたり、流したりするハード面の設備も必要である。国や県任せにせず、しっかりと対策を立ててもらいたい。